

與那原驛舎新聞

2024
7
月号

【発行所】
軽便 与那原駅舎展示資料館
与那原町字与那原 3148-1
TEL 098-835-8888

【発行人】
株式会社 YUKAZE (指定管理者)

琉球大学・西原町主催

グローバルフェスティバル出展

7月15日(月)に西原町で開催されたグローバルフェスティバル(主催:琉球大学国際教育センター&西原町)に与那原駅舎展示資料館も出展しました。



会場は西原町民交流センターおよび西原さわふじマルシェ。駅舎のブースはステーション、沖縄県鉄道の歴史や、会場となる西原町にあった製糖工場や沖縄馬車軌道を古写真で紹介しました。

ブースには70名ほどの方が遊びに来てくれ、簡単なアンケートにも答えていただきました。そのうち半数が沖縄に鉄道があったことを知らなかったとの回答で、資料館を含め、みんなにもっと知っていただけるように努力しなければと思います。

Xにてアニメ公開 地元紙への掲載も

与那原駅舎展示資料館の公式X(旧ツイッター)にて、5月22日から27日にかけて県鉄が走っていた線路跡の地図上を3Dの列車が走るアニメーションを投稿しました。思いのほか反響があり、7月現在で1300以上の「いいね」が付いています。また、そのことが「琉球新報」にも取り上げられ記事になりました(6月12日)。どちらもぜひ、ご覧ください。

夏休みイベント開催

駅舎展示資料館では、今年も夏休みイベントを開催します。7月25日(土)〜29日(月)、8月22日(木)〜25日(日)にはトイレール広場、7月28日(日)には工作ワークショップを開催します。



トイレール広場は、館内にスペースを設けて、鉄道のおもちゃで自由に遊べます。予約不要・参加無料(町外の中学生以上は要入館料)です。ぜひお気軽にご参加ください。

工作ワークショップは、牛乳パックで機関車を作ります。材料の持ち込みは不要。参加料は300円で、要申込です。公式サイトもしくは駅舎受付でお申し込みください。

駅舎コラム②

台風での運休と横転事故

今も昔も台風の多い沖縄。現在でも台風になるとバスやモノレールが運休しますが、それは当時の沖縄県鉄道(県鉄)も同じでした。当時の規則によれば風速25メートルで運休したそうです。職員は線路点検などを行い、駅で待機していました。

台風による車輛の横転事故なども起こっています。1923年8月の台風では、嘉手

納線の内間駅付近を走る列車が横転する事故が起きています。機関車、貨車、客車3両の列車が風を受け、自重の軽い後方の客車から横転し、連鎖して機関車まで横転してしまいました。幸いにも台風下の夜間だったため乗客も少なく、惨事には至りませんでした。現場付近の住民の協力も得つつ、徹夜で機関車を引き上げました。

台風の影響で、公共交通が翻弄されるのは、今も昔も変わりませんね。(学芸員K)

新作缶バッジ発売

新作の駅名標缶バッジを販売中です。今回は嘉手納線から「牧港駅」「大山駅」、糸満線から「稲嶺駅」です。駅名のリクエストもお待ちしております!



JTA・RAC機内誌 『コーラルウェイ』に掲載

JTAとRACの機内誌、『コーラルウェイ』の「島街道をゆく」で与那原駅舎が取り上げられました。ご搭乗の際にぜひご覧ください。



与那原町立 軽便 与那原駅舎 展示資料館

戦前の沖縄にあった沖縄県鉄道(沖縄県営鉄道/軽便鉄道)。その与那原駅の駅舎を2014年度に復元しました。沖縄県鉄道の歴史や鉄道関係資料を展示する小さな鉄道資料館です。

開館時間 10:00 ▶ 18:00
休館日 火曜日、12/29-1/3
入館料 ¥100 (町外)

【入館料無料】町内在住・通勤通学/小学生以下/「障害者手帳」をお持ちの方とその介助者/まち歩きガイドの一行/学習を目的とした団体の講師



公式サイト、SNS
<https://www.yonabaruekisha.com/>

